

## 別紙 2

介護保険事業支援計画に記載した、市町村が行う自立支援、介護予防又は重度化防止及び介護給付の適正化に関する取組の支援についての目標（令和2年度）に対する自己評価結果

都道府県名： 石川県

ア 取組の支援についての自己評価結果	
項目名	自立支援に向けた地域ケア会議の推進
目標を設定するに至った現状と課題	<p>要支援者等の介護の必要性が軽度の高齢者は、掃除や買い物などの生活行為（IADL）の一部が難しくなっているものの、IADLの多くは、生活の仕方や道具を工夫することで、生活が改善することが期待できることから、アセスメント及び自立支援に資するケアマネジメントが重要となる。</p> <p>こうしたことから、地域の多職種の見点から課題の解決に向けた検討を行う地域ケア個別会議を活用し、要支援者等のIADLの課題解決等、状態の改善による自立の促進とともに、高齢者のQOL(生活の質)向上を図ることが必要である。</p>
取組の実施内容、実績	<p>(取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・介護予防事業担当者研修（R2.6.29） 市町や地域包括支援センター職員等を対象に、新しい生活様式における介護予防・自立支援に向けた取り組みをテーマとした研修を実施した。</li><li>・地域包括ケア推進アドバイザーの派遣（6市町・計6回） 希望する市町へのアドバイザー派遣を通じて、地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携等、個別支援を実施した。</li></ul> <p>(実績)</p> <p>自立支援に向けた地域ケア会議実施市町数：全19市町（R2年度）</p>
自己評価	<p>自立支援に向けた地域ケア会議を推進するため、これまでに国のモデル事業や、実施に係るアドバイザー派遣等に取り組んできた結果、R2年度には県内全19市町において会議を実施し、R7年度までに全市町で実施する目標を達成した。</p>

イ 管内保険者の自己評価結果の概要	
	<p>コロナウイルスの影響により会議回数が減少した市町や、市全体の課題把握を今後の課題として考えている市町が見られた。一方で、会議に薬剤師やリハ職、栄養士等の多職種の参加が充実し、より多くの専門的視点で課題検討することができたと評価する市町もあった。</p>

ウ まとめ（ア及びイから考察した現状・課題と対応策）	
	<p>自立支援に向けた地域ケア会議については全市町が実施しており、幅広い専門職の会議への参加が進んでいる市町も見受けられた。その一方で、課題把握や専門職の参加について課題とする市町もあり、引き続き、研修会やアドバイザー派遣等を通じて、各市町の抱える課題解決や更なる取り組みの推進に向けた支援を行っていく。</p>